

情報ネットワーク学演習 2

課題 1-2

秋下 耀介

情報ネットワーク学専攻

学籍番号 ; 33E16001

E-mail: y-akishita@ist.osaka-u.ac.jp

2016 年 10 月 11 日 (火)

1 問題

仮想スイッチを停止したら、コントローラで次のメッセージを表示するようにしてみよう。

- Bye 0xabc

2 解答

まず hello_world.rb において、以下の記述を追加する。

```
def switch_disconnected(datapath_id)
  logger.info "Bye #{datapath_id.to_hex}"
end
```

上記は、datapath_id で指定される仮想スイッチが切断された際に実行される。内容としては、切断されたスイッチの ID を表示するものとなっている。

実際にコントローラの接続および仮想スイッチの切断を行なった際の実行コマンドとスクリーンショットを示す。コントローラ接続の際に入力したコマンドは以下である。

```
trema run lib/hello_trema.rb -c trema.conf
```

また仮想スイッチを停止させる際に入力したコマンドは以下である。

```
trema stop 0xabc
```

図 1 においては、コントローラが起動していることが読み取れる。図 2 においては、停止コマンド実行後に Bye 0xabc のメッセージが表示されていることから、仮想スイッチ停止後に期待されるメッセージが表示されていることがわかる。

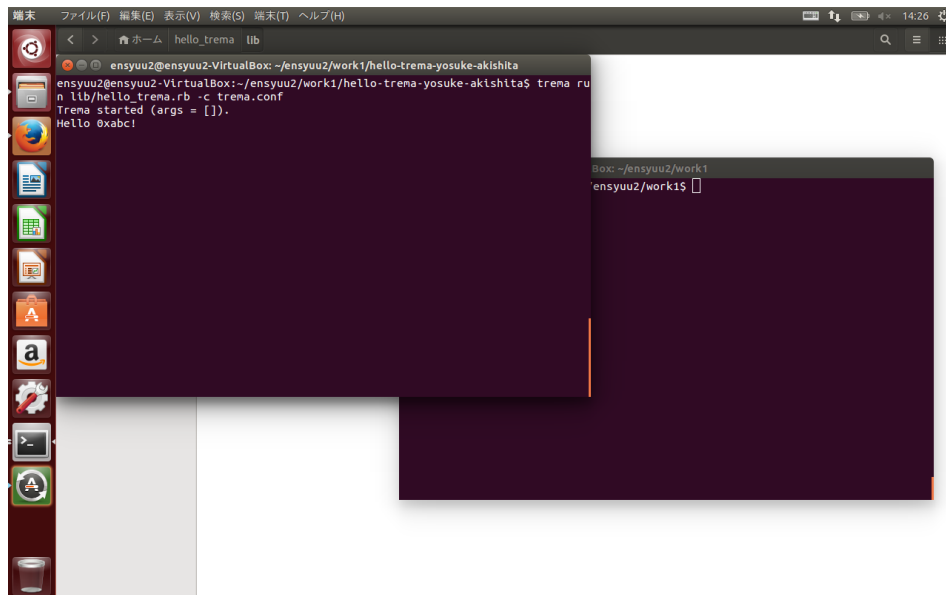


図 1 コントローラの接続

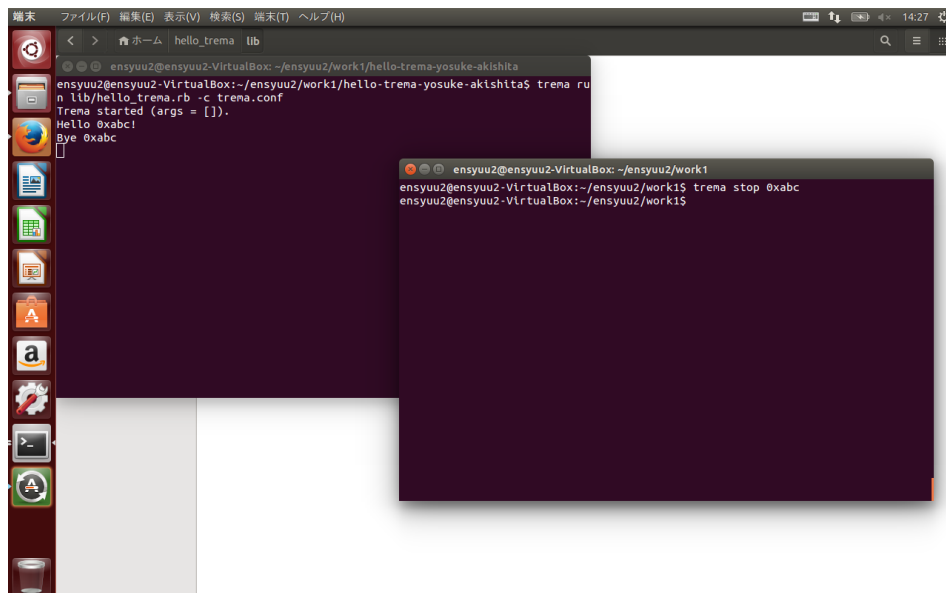


図 2 仮想スイッチの停止

参考文献

- [1] 情報ネットワーク学演習 2 事前準備 <https://github.com/handai-trema/syllabus#事前準備>